

# 令和 4 年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

茶屋

日 時：令和 4 年 6 月 5 日(日)19:00～20:10

場 所：茶屋老人憩の家

参加者：15 名

## 国立小児病院跡地の利用について

参加者	国立小児病院跡地を購入して約 20 年が経過した。 高齢化社会が進み、65 歳以上の 1 人暮らしの高齢者は、防災の関係で把握しているだけで茶屋内に 65 名いる。 地域の要望としては、病院を誘致してほしいという意見が出ている。 医療機関は駅周辺に集中しており、バスの減便などにより不便を感じている。
町長	当初は、子どもたちのための児童館のような施設を建設する『子どもの館』構想があった。 その後、マーケットサウンディングを実施したが、活用に対して敷地のサイズが合わず、民間事業者では活用が難しい状況である。 昨年、議会からも活用に関する話があり、厚生労働省に相談したが、子どものために使うという目的で町へ譲渡したので、子どもに対する機能を含めていただきたいという回答だった。 民間の病院等から話があれば検討はできるが、現段階ではそのような話はない。
参加者	行政が政治的に動かないと活用は難しいと思う。 積極的な誘致をお願いする。
参加者	子育て世代としては、子育て関連施設が建設されることを楽しみにしていた。 吾妻山は遠いので、身近な公園としてアスレチックやバスケットコートなどを整備してくれると良いと思う。
参加者	ゆめクラブでグラウンドゴルフをする際、茶屋周辺に活動できる場所がないため東京大学果樹園跡地等を使用している。 シニアと子どもが使える公園として簡易的な整備をしてほしい。
町長	奥の土地にはゲートボール場もあり、公園の併設等も考えられるため、具体的な話になれば改めて地区等にお知らせする。

## 小中一貫教育について

参加者	来年度より分離型の小中一貫教育が始まるということだが、教員等に過度な負担はかからないか。
教育長	当初、小中一貫教育に向けて様々なケースを検討したが、今ある学校を使って集約するのは難しいという結論に至った。全小中学校が 1 つの教育目標を立てて 9 年間の一貫したカリキュラムで推進していく。 小中学校相互の教員が、オンライン等でアドバイスができる仕組みをつくり、教員に過度な負担がかからないよう進めていく。
参加者	小中一貫教育について、PTA や子ども会の保護者に周知されているのか。
教育長	各 PTA の会議等で説明しているが、もっと機会を作っていきたい。 現在、町内の小中学生は 1,790 人おり、一体型の学校建設を予定する 2040 年までには 500 人くらいが減少し、1 つの学校規模の人数になると想定している。 しかし、それまで何もしない訳ではなく、今年度には施設一体型小中一貫教育校設置研究会を立ち上げる等早期の設置を目指していく。

参加者	小学校・中学校では教員免許が違うので一貫教育は難しいと思う。
教育長	各教員が所有する教員免許に基づき教育していくことになるが、両方の免許を持っている人材を採用していくことになるかと思う。 一色小・山西小の高学年が西中学校に通う前に馴染めるよう、修学旅行を一緒にするなどを検討している。
町長	今夏にはフォーラムを開催する等、その都度小中一貫教育に関して周知する機会を設けていく。

### 学校のプール授業について

参加者	学校にプールがないので授業回数が少ない。 プール授業の時間を確保してほしい。
教育長	着衣水泳等、水に慣れる時間を確保したいとは考えている。 今年度の水泳授業を実施するかは決まっていないが、新型コロナウイルス感染症等の関係もあり、平塚市では実施しないとの事である。 今後も山西プール・温水プールを活用し、バスをチャーターする等で実施していきたい。

### 英語検定奨励金について

参加者	塾に通っている子どもは高校入試の模試が受けられるが、模試を受けられない子どももいる。 英語検定の補助でなく、中学3年全員に対し高校入試の模試に対する支援を実施してほしい。
教育長	町では特に英語教育に力を入れている。 日常の授業の中で生徒の英語力をしっかり高めることで、受験対策を進めていく。

### 新庁舎建設について

参加者	新庁舎建設の公約から4年が経過する。 熊本大震災もあり、当時の交付金を活用できていればもう建設できていたと思う。 耐震化もされておらず、薄暗い庁舎では職員の士気も上がらないと思う。 建設場所をラディアン裏の第一駐車場から果樹公園周辺へと舵を切ったり、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画を策定したり等、財源の課題もあるが、ぶれずに新庁舎建設を進めていただきたい。
町長	ラディアン裏の広場への建設を計画していたが、千年に1度の大雨時には膝くらいの高さまで1時間30分程度の時間浸水してしまうという予測があるため、より高い果樹公園の方に変更した。 ラディアン建設時の町債も減ってきている。県内自治体で未耐震の庁舎は、二宮町・大磯町・湯河原町のみである。 まずは庁舎建設を進め、北口駅前の現駐車場の場所に二宮小学校体育館と町民センター機能の複合施設を建設するなど、順々に事業を進めていく。

## 地区への加入促進について

参加者	私の同級生は町内に殆ど残っておらず、地元で育った人が少なくなってきている。神輿会に加盟しているが、会員も減少しており、伝統文化の継承のためにも、移住者の方に対して、町内会等とマッチングするような事業を進めていただきたい。
参加者	昨年引っ越してきたが、自分の住む地区名が茶屋と分からなかった。転入の際に、町や地区の年間イベント等のパンフレットが配布されたら良いと思う。
町長	人口減少は全国的な問題で、二宮町においても減少は避けられないが、引っ越して来られる方が一定数おられる。 今朝の朝市に行った際も茅ヶ崎市から二宮町に引っ越された方にお会いした。町の魅力を発信しながら、引き続き移住・定住施策を進めていく。 町内会への案内については、戸籍税務課で転入の手続きをされた際にパンフレットを配付しているが分かりづらい事もあるかと思う。 加入の強制はできないが、マッチングできる情報発信を実施していきたい。

## マイクロバスの廃車について

参加者	地区社協やゆめクラブで遠足や役員の研修会等において町のマイクロバスを活用していた。 バスが無いと多人数の移動が難しく、活性化に支障がでている。 研修会用に社会福祉協議会から5万円の予算は付いているが、それでは不足しているためマイクロバスの再配置を検討してほしい。
町長	再度町でバスを所有するのは難しいので、交付している研修予算で対応をお願いしたい。 また、必要な研修等であれば町担当課に申請いただければ総務課でバスを配車することができるので相談してほしい。

## 通学路の補修について

参加者	幹線道路の横断歩道等の白線が消えている箇所がある。 子どもたちの通学時等に危険があるため、担当課で巡回し補修をお願いしたい。
教育長	通学路について、点検をして状況は把握している。
町長	確かに消えている部分はあるので、速やかに補修を行う。